

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]2008 を決定

独立行政法人情報処理推進機構（略称：IPA 理事長：西垣 浩司）は、優れたソフトウェア・プロダクトを表彰する「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー 2008」（後援：経済産業省、朝日新聞社、日刊工業新聞社、株式会社アスキー・メディアワークス）の受賞ソフトウェア・プロダクトを、以下の 7 件に決定しました。

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤーは、ソフトウェアの開発意欲を高め、良質なソフトウェア製品の供給の充実及び市場の拡大を促進することを目的とした、優れたソフトウェア・プロダクトを表彰する制度です。平成元年（1989 年）に創設され、今年で 20 回目を迎えます。

今年度は、いずれも質の高い 54 プロダクトの応募の中から、厳正な審査を行った結果、7 プロダクトを「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」として表彰することに決定しました。また、その中から特に優れた 1 プロダクトをグランプリとして表彰します。

【受賞ソフトウェア・プロダクト】



【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]2008 グランプリ】

安心・安全 分野

- ・ 「Crack Proof (クラック・プルーフ)」
株式会社ハイパーテック (代表取締役 小川 秀明)

SPOTY 2008

Software Product Of The Year 2008

【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]2008】

産業・企業・行政 分野

- ・ 「COMPANY Financial Management」
株式会社ワークスアプリケーションズ
(代表取締役 最高経営責任者 牧野 正幸)
- ・ 「ネット de 会計」
ビジネスオンライン株式会社 (代表取締役 藤井 博之)

家庭・個人 分野

- ・ 「音声入力メール」
株式会社アドバンスト・メディア (代表取締役会長 鈴木 清幸)

安心・安全 分野

- ・ 「Eugrid SecureClient」
Eugrid 株式会社 (代表取締役 池田 実)
- ・ 「Web 合成音声配信システム vds (ボイス・デリバリ・システム)」
株式会社ナレッジクリエーション (代表取締役 新城 直)

システム・基盤 分野

- ・ 「ユニケージ開発手法および同開発コマンドセット」
有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所
(代表取締役所長 當仲 寛哲)

詳細については、以下をご参照ください。

添付資料 1：受賞ソフトウェア・プロダクト概要

添付資料 2：ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2008 の選定について

添付資料 3：選定委員一覧

添付資料 4：ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー表彰実績一覧

■授賞式を以下のとおり実施します。

開催日：2008年10月28日(火) 14:30～15:20

会場：明治記念館 1階 相生

※IPA主催イベント「IPA Forum 2008 *1」の中で授賞式を行います。

※授賞式終了後、受賞者プレゼンテーションを同会場で行う予定です。

15:30 ～ 17:30 (15分程度 x 7社予定)

■ 本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構

ソフトウェア開発事業部 ソフトウェア開発グループ 神島／長澤

Tel: 03-5978-7504 Fax: 03-5978-7514 E-mail: spoty@ipa.go.jp

■ 報道関係者からのお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構

戦略企画部 広報グループ 横山／大海

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

*1 IPA Forum 2008 は、IPA の事業活動の成果の紹介と普及促進を目的として開催している主催イベントです。
イベントの詳細は、次の URL をご参照ください。<http://www.ipa.go.jp/event/ipaforum2008/>

受賞ソフトウェア・プロダクト概要

【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]2008 グランプリ】

■安心・安全 分野

「Crack Proof (クラック・プルーフ)」

株式会社ハイパーテック (代表取締役 小川 秀明)

【概要と選定理由】

Windows アプリケーションを違法コピーや解析・改ざん行為から効果的に保護するためのソフトウェア。

従来からあったコピープロテクト製品などとは一線を画し、ソフトウェアに加えらるであろう、より巧みに様々な方法に進化した攻撃に対して強力な抵抗力を与える。

その効用は、単なる違法コピー防止にとどまらず、プログラムの静的解析や実行時の動作解析によるクラッキング防止にも及ぶ。

具体的には、暗号化され解析・コピー不可能を謳っていたはずのビデオ映像などのコンテンツを、プレーヤーソフトの違法な解析・改ざんにより不正にコピー・流通させる行為や、オンラインゲーム内の状態を改ざんし、ゲームのバランスを狂わせ、莫大な被害を与える不正なアクセスといった、反社会的行為を食い止めることさえも可能としている。

国内では、この種の目的に適合したソフトウェアが他に存在しないこと、世界的に見てもその性能が最高水準にあると認められることにより選定された。

【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]2008】

■産業・企業・行政 分野

「COMPANY Financial Management」

株式会社ワークスアプリケーションズ (代表取締役 最高経営責任者 牧野 正幸)

【概要と選定理由】

ノーカスタマイズでの導入をコンセプトとした大企業向け経理、会計パッケージ。

日本特有の商習慣により例外の多い、大手企業の会計処理機能を網羅している。不足している機能はカスタマイズではなく製品として取り込みでバージョンアップで提供する。各社特有の帳票設計などパラメーターの設定で作成でき自由度が高い。

ノーカスタマイズ導入と定額保守料による永続的なバージョンアップが受けられることで、大手企業が取り組んでいる内部統制構築、評価が効率的にできる。

これらの点が、多く導入されている海外製会計 ERP がない優位性を持っていることと、国内の大手企業向け会計パッケージ市場で、2007 年のライセンス売上高が 2 位（シェア 22%）、国産では 1 位という実績※を評価し選定した。

※出典：矢野経済研究所 大手企業向けエンタープライズアプリケーション市場

「ネット de 会計」

ビジネスオンライン株式会社（代表取締役 藤井 博之）

【概要と選定理由】

中小企業会計業務向けの ASP・SaaS 型会計ソフト。利用者はインターネット上で帳簿入力から閲覧、各種帳票類の作成や経営分析資料の作成、決算書の作成を行うことができる。

データのバックアップや法改正等に伴うバージョンアップ作業は全てサーバ側で一括して行っており、利用者側の作業は不要。また、複数のユーザーが、複数の場所から同時に利用することができ、付箋機能を活用することによって、オンラインで会計事務所や商工会議所等に相談を行なうことができる。

その他、電子申告やインターネットバンキングにも対応できるようになっている。

2000 年から ASP 型の会計ソフトとしてサービス提供を続け、着実に販売本数を伸ばしており、累計 90,000 社強の利用実績。販売実績、先進的技術とそれを裏付ける信頼性を評価し、選定された。

■家庭・個人 分野

「音声入力メール」

株式会社アドバンスト・メディア（代表取締役会長 鈴木 清幸）

【概要と選定理由】

携帯電話向けの音声認識技術。NTT ドコモの「らくらくホン プレミアム」「らくらくホン V」で、「音声入力メール」サービスの実現に利用されている。携帯電話側に搭載されたソフトウェアで音声の特徴を抽出、データ量の小さな「特徴量データ」のみをネットワーク経由で送信し、サーバ側で音響情報と言語情報を用いて解析、文脈と意味を考慮し、テキスト文書化する。不特定話者の会話を認識可能で、従来は必要であった「話者認識のための学習」が不要。「なまり」があっても問題ない。また、解析エンジンは言語に依存しておらず、翻訳にも使える。

携帯電話という小さなリソースで、不特定話者に対応した言語認識を実現、バリアフリーでのメール利用に貢献している他、今後の海外展開も有望である点を評価し、選定された。

■安心・安全 分野

「Eugrid SecureClient」

Eugrid 株式会社（代表取締役 池田 実）

【概要と選定理由】

従来のシンクライアントシステムより安価な情報漏えい防止ソフトウェア。既存の PC を変更することなくシンクライアント化できる。大きな特徴はシンクライアント専用サーバを必要としないこと。情報漏えいの根源となる情報を利用者の PC に置かないようにし、常時安全なサーバに隔離するが、利用者にはあたかも利用者の PC にデータがあるように見える。SSL-VPN を使用してモバイルで利用することもできる。またオフラインで利用する場合は、ファイルサーバから USB にデータをダウンロードするが、当システム配下の PC で利用しないとまったくデータが見えない仕組みを作り上げている。(当 USB を他の PC で見ようとしてもフォーマットしないと見られないようになっている。)

1 万ライセンスの実績、高い技術力を持ったベンチャー企業である点を評価し選定された。

「Web 合成音声配信システム vds (ボイス・デリバリ・システム)」

株式会社ナレッジクリエーション(代表取締役 新城 直)

【概要と選定理由】

WebAPI で提供される合成音声システム。WebAPI で提供されるため OS に依存せず、出力は Flash を使用するため利用者の環境を選ばない。操作も容易にデザインされている。WebAPI として提供することにより、高齢者、視聴障害者向けの音声読み上げだけでなく、外国人の日本語学習とともに、日本の観光情報を音声提供するといった新しい利用形態も生み出している。福祉団体、大学、TV 局などでの導入実績を持つ。SDK (ソフトウェア開発キット) の購入が必要無く、無償版 WebAPI の提供もあり、今後の利用拡大が期待される。SaaS をはじめ、ソリューションでの提供や OEM での提供も準備中。

音声合成システムのユニバーサルデザイン化への社会貢献度の評価と、WebAPI、SaaS などの提供形態による広がりの可能性に期待して、選定された。

■システム・基盤 分野

「ユニケーj開発手法および同開発コマンドセット」

有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 (代表取締役所長 當仲 寛哲)

【概要と選定理由】

従来型RDBを用いた定型処理をはじめとする基幹系システムをシェルプログラミングにより置き換え・開発するユニケーj開発手法及びシェルプログラミングを簡単化するためのコマンドセット。良品計画をはじめ大手のシステムの置き換え・開発実績を持つ。シェルスクリプトを用いるが故に並列化がOSレベルで自然に実現でき、近年のマルチコア型CPUの性能を容易に引き出すことができる。

シェルスクリプトでの定型処理を実現した革新性を評価し、選定された。

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー® 2008の選定について

1. 募集方法

表彰の候補対象となるプロダクトは、次の情報関連団体等のご協力を得て募集した。

社団法人 企業情報化協会
社団法人 組込みシステム技術協会
社団法人 コンピュータソフトウェア協会
社団法人 情報サービス産業協会
財団法人 ソフトウェア情報センター
社団法人 電子情報技術産業協会
社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
財団法人 日本情報処理開発協会
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

今回の募集は、次の4分野に分けて行った。

[産業・企業・行政 分野]
[家庭・個人 分野]
[安心・安全 分野]
[システム・基盤 分野]

2. 審査・選定方法

学識経験者・有識者で構成されたソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー選定委員会〔委員長:安田 浩 東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科 教授〕及び選定ワーキンググループで、過去1年程度の期間内で、国内において広く利用され、流通されているもので申請・推薦のあったプロダクトを対象に、次の選定基準により書類審査及びプレゼンテーション/デモンストレーション審査を行い、表彰プロダクトを選定した。

<選定基準>

- ① 賞の主旨（オブ・ザ・イヤー）への合致度
（販売実績や産業・社会へのインパクト等により、その年に注目を集めた日本発のソフトウェア・プロダクト）
- ② 新規性（革新性）
- ③ 利便性（操作性）
- ④ 有用性（品質、性能、安全性）
- ⑤ 利用（販売）実績

選定委員一覧

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]選定委員一覧

	氏名	所属
委員長	安田 浩	東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科 教授
委員	宇陀 栄次	株式会社 セールスフォース・ドットコム 代表取締役社長
	遠藤 諭	株式会社 アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所所長
	大島 信幸	株式会社 日立製作所 情報・通信グループ 経営戦略室 渉外統括本部主管 (財団法人インターネット協会 理事)
	大塚 裕司	社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会 会長 (株式会社 大塚商会 代表取締役社長)
	山名 早人	早稲田大学 理工学術院 教授
	和田 成史	社団法人 コンピュータソフトウェア協会 会長 (株式会社 オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長)
	和田 英男	特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 副会長 (ERP 研究推進フォーラム 理事長)

(敬称略、五十音順)

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー[®]選定ワーキンググループ委員

	氏名	所属
主査	山名 早人	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	宇佐美 慎治	株式会社 大塚商会 取締役 兼 上席執行役員
	木村 玲美	ITコーディネータ (浜松総務部 有限会社 代表取締役)
	津田 稔	株式会社 メリーチョコレートカムパニー 総務部 システム担当 マネージャー
	中道 泰隆	株式会社 リード・レックス システム開発部 部長
	西田 宗千佳	フリージャーナリスト
	福嶋 慎一	株式会社 日立製作所 情報・通信グループ ソフトウェア事業部 企画本部 計画部 主管技師

(敬称略、五十音順)

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®表彰実績一覧

年度	対象分野	プロダクト名	会社名
2007年 【第19回表彰】	【グランプリ】 家庭・個人分野	組込用顔画像処理ミドルウェア FSE	沖電気工業(株)
	産業・企業・行政分野	3Dプレゼンテーションソフトウェア 「prezvision」(プレジビジョン)	ソフトアドバンス(株)
		Intellino (インテリーノ)	日本電能(株)
		RiskTaker (リスクテーカー)	(株)電通国際情報サービス
	安心・安全分野	SmartOn	(株)ソリトンシステムズ
	システム・基盤分野	Amateras	Project Amateras
		Hinemos - オープンソースの統合運用管理ツール -	(株)NTTデータ
リアルタイム通信アプリケーション用 ミドルウェア「VCE」		コミュニティーエンジン(株)	
2006年 【第18回表彰】	【グランプリ】 システム・基盤分野	PacketiX VPN 2.0	ソフトイーサ(株)
	産業・企業・行政分野	LookStailorX (ルックステラーテン)	デジタルファッション(株)
		UML モデリングツール JUDE (ジュード)	(株)チェンジビジョン
		会計事務所向け会計ASP「BIZUP発展会計」	日本ビズアップ(株)
		サイトクリエイション(SiteCreation)	サイバーステーション(株)
	家庭・個人分野	StationTV Digital	ピクセラ(株)
	安心・安全分野	富士通アクセシビリティ・アシスタンス	富士通(株)
システム・基盤分野	MatrixEngine®embedded	(株)ネットディメンション	
2005年 【第17回表彰】	家庭・個人分野	Lunandscape2	Lunandscape(株)
		T-Time5.5	(株)ボイジャー
	安心・安全分野	秘文AEシリーズ	日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
2004年 【第16回表彰】	システム分野	MM GATE	日本電気(株)
		Interstage Shunsaku Data Manager	富士通(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	超漢字原稿プロセッサ	パーソナルメディア(株)
	エンジニアリング分野	AutoCAD 2005	オートデスク(株)
		手書きCADソフトウェア CadPlusシリーズ	(株)ティーファイブ
ソーシャル/ライフ分野	VOID Modular System	(株)ピー・ソフトハウス	

年度	対象分野	プロダクト名	会社名
2003年 【第15回表彰】	システム分野	AD-POWERsシリーズ	大日本印刷(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	サイボウズ ガルーン	サイボウズ(株)
	エンジニアリング分野	高速・高安定型連立一次方程式 計算ソルバ SuperMatrixSolver	(株)ヴァイナス
	ソーシャル／ライフ分野	U携帯型会話補助装置 トークアシスト	明電ソフトウェア(株)
2002年 【第14回表彰】	システム分野	DataSpiderシリーズ	(株)アプレッソ
	ビジネス・アプリケーション分野	多次元高速集計レポートツール Dr.Sum	翼システム(株)
	エンジニアリング分野	Caelum XXen	(株)トヨタケーラム
	ソーシャル／ライフ分野	UC-win/Road	(株)フォーラムエイト
		FineSpeech	(株) アニモ
LiveCreator Ver.3		(株) レイル	
2001年 【第13回表彰】	システム分野	PCGATE Personal Ver.1.0	日本電気(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	Kacis Publisher/Kacis	(株)カシス、 (株)メディアヴィジョン
		3DオフィスデザイナーPRO	メガソフト(株)
	エンジニアリング分野	FJVPS (バーチャルプロダクトシミュレータ)	富士通(株)
	ソーシャル／ライフ分野	一太郎マイルシリーズ	ジャストシステム(株)
江戸東京重ね地図		(株)エーピーピーカンパニー	
2000年 【第12回表彰】	システム分野	IntelligentSearch	富士通(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	サイボウズ Office	サイボウズ(株)
	エンジニアリング分野	生産ライン構築ソフトウェア「ASTMAC」	横河電機(株)
	ソーシャル／ライフ分野	歌で覚えるはじめての手話シリーズ	東京システムハウス(株)
Panorama Boutique		三洋電機(株)	
1999年 【第11回表彰】	システム分野	Network CryptoGate	(株)東芝
	ビジネス・アプリケーション分野	SCM(サプライチェーン管理)実行システム SCMJ	日立エンジニアリング (株)
	エンジニアリング分野	ASPROVA	アスプローバ(株)
	ソーシャル／ライフ分野	3DCG統合ソフト「Shade(シェード)R3シリーズ」	エクス・ツールズ(株)

年度	対象分野	プロダクト名	会社名
1998年 【第10回表彰】	システム分野	情報検索システム「Justsystem ConceptBase Search20/1000」	(株)ジャストシステム
		ViaVoice 98 日本語版	日本アイ・ビー・エム(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	DocuWorks Ver.3.0	富士ゼロックス(株)
		簡単マルチメディア・オーサリング・ツール「コンダク太4」	日本システムウェア(株)
	エンジニアリング分野	CADCEUS	日本ユニシス(株)
	ソーシャル／ライフ分野	両眼視機能検査ソフトウェア3Dマルチビジョンテスター-MVT-200	三洋電機(株)
		XGworks V2.0	ヤマハ(株)
		Native World	(株)沖北陸システム開発
	1997年 【第9回表彰】	システム分野	QUOVIS-AUTHOR
ビジネス・アプリケーション分野		「超」ファイリングシステム	(株)サピエンス
エンジニアリング分野		FEMstar 3D for Windows	東電ソフトウェア(株)
ソーシャル／ライフ分野		95Reader	日本障害者雇用促進協会 (株)システムソリューションセンターとちぎ (株)リコー
		自動書籍朗読システム「よみとも」	タウ技研(株) リコーシステム開発(株) (鹿児島)
		キワラのタイピングアドベンチャー	日本データパシフィック(株) TYPEQUICKLTD (オーストラリア)
1996年 【第8回表彰】	システム分野	LanScopeFOR	エムオーテックス(株)
	ビジネス・アプリケーション分野	DataNature	(株)エヌジェーケー
	エンジニアリング分野	CyberWalker	(株)東洋情報システム
	ソーシャル／ライフ分野	Mediachef/CUT for Windows	(株)日立製作所
		思い出オルゴールWindows版 Ver2.0	ダットジャパン(株)
		手話学習用のマルチメディアCAI「手話マスター」	(株)ライテック

年度	対象分野	プロダクト名	会社名
1995年 【第7回表彰】	システム分野	Joinus-PCシリーズ	(株)オーエスケイ
		Infoworks	(株)野村総合研究所
	ビジネス・アプリケーション分野	NetSurfer/ej	(株)ノヴァ
	エンジニアリング分野	ICAD/MX	富士通(株)
	ソーシャル/ライフ分野	ビジュアル・アレンジャースコアリーダー	ヤマハ(株)
1994年 【第6回表彰】	行政・福祉部門	自治体向け福祉総合システム『SWAN』	(株)システムウェーブ
		建築確認申請書作成プログラム	(財)建築行政情報化センター 建築確認支援システム 運用協議会
	一般部門	EasyFax	イー・アイ・ソフト(株)
		TIPPLER	日本ユニシス(株) (株)野村総合研究所
1993年 【第5回表彰】	マルチメディア対応部門	MEDIA IV	(株)富士通 ソーシャルサイエンスラブラトリ
		GAINMOMENTUM	伊藤忠テクノサイエンス(株)
	パーソナル利用部門	クックメイトV2.0	(株)夢工房
	福祉部門	発声発語訓練システム	松下通信工業(株)
	教育部門	ロゴライター・小学校キット	ロゴジャパン(株)
		水彩	NTTデータ通信
1992年 【第4回表彰】	福祉部門	AOK点字日本語ワープロ	(株)高知システム開発
		VDM100	斎藤正夫
	知識情報処理部門	ASTRANSAC	(株)東芝
	セキュリティ部門	SafeWord	(株)メトロ
	意志決定支援部門	SYSTEM W	(株)ソフトウェア・エージ
1991年 【第3回表彰】	一般部門	MRDBV4	TDCソフトウェアエンジニアリング(株)
		Microsoft Windows Version3.0	マイクロソフト(株)
	財務・会計部門	三代目大番頭	(株)システムハウスミルキーウェイ
		PCA会計Ⅱ V2.0	ピー・シー・エー(株)
		TOP財務会計エキスパート2	(株)オービックビジネスコンサルタント
	社会・産業教育部門	NihongoWare 1	(株)アリアドネ・ランゲージ・リンク

年度	対象分野	プロダクト名	会社名
1990年 【第2回表彰】	一般部門	Bride/Happiness	(株)平和情報センター
		毛筆わーぷろ	富士ソフトウェア(株)
	CAD部門	CADSUPER SXⅢ	アンドール(株)
1989年 【第1回表彰】		EASYTRIEVE PLUS	(株)パンソフィック
		ロータス1-2-3	ロータス(株)
		一太郎	(株)ジャストシステム